

SSニュース

—目次—

◎品管からの連絡事項

- ・GMDSS 救命設備整備技術研修会の未受講期間に係る取り扱いについて 1
- ・2022 年船用品整備情報について
 - 膨脹式救命いかだ整備台数の推移(用途別)(2015 年～2022 年) 3
 - 膨脹式救命いかだ/降下式乗込装置地区別整備状況(2015 年～2022年) 4
 - 膨脹式救命いかだ種別・製造年別整備台数一覧表(2022 年 1 月～12 月) 5
 - GMDSS 救命設備別整備台数の推移(2011 年～2022 年) 6
 - GMDSS 救命設備の地区別整備台数の推移(2020～2022 年) 7
 - GMDSS 救命設備の種別・製造年別整備台数(2022 年 1 月～12 月) 8

2023年7月

GMDSS 救命設備整備事業場
事業場責任者（責任者）各位

一般社団法人日本船舶品質管理協会

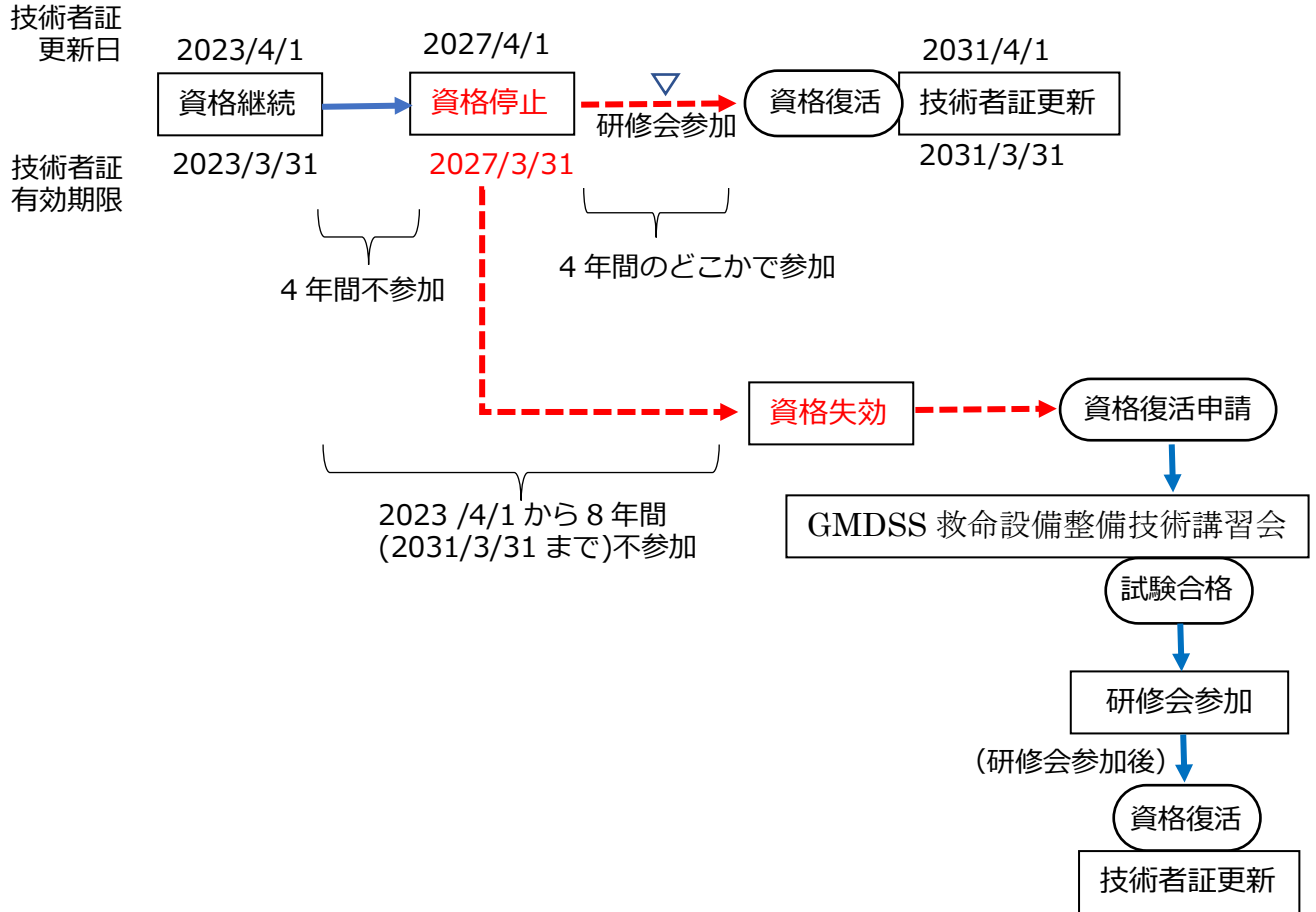
GMDSS 救命設備整備技術研修会の未受講期間に係る取り扱いについて

GMDSS 救命設備整備技術研修会の未受講期間に係る取り扱いを以下のように定めましたので、ご連絡いたします。

- (1) 救済措置その1（技術者証有効期限満了後、研修会不参加期間が8年まで）
技術者証の有効期限までに研修会に不参加の場合、原則資格停止（※1）となる。
資格停止となった者が、資格の復活を希望する場合、当会が主催する「GMDSS 救命設備整備技術研修会」に参加することで、技術者証を更新する。
※1：疾病等により協会に申請し、有効期間を1年延長した場合を除く。
- (2) 救済措置その2（技術者証有効期限後、研修会不参加期間が8年以上）
技術者証の有効期限までに研修会に参加せず、研修会不参加期間が8年を超えた者は資格失効となる。資格失効となった者が、資格の復活を希望する場合、当会が主催する「GMDSS 救命設備整備技術講習会」または、「GMDSS 救命設備整備技術特別講習会（以下、特別講習会）（※2）」を受講し、試験に合格すること、及び、当該年度の研修会に参加することで、技術者証を更新する。
ただし、研修会不参加期間が12年以上の者に関しては、GMDSS 小委員会に諮り、講習会の受講可否を協議する。
※2：特別講習会とは GMDSS 救命設備整備技術講習会を開催しない年度に実施するもの。
- ① 特別講習会の内容：通常講習会と同一とする
② 特別講習会の費用：必要経費等 実費については受講者が負担する
③ 特別講習会等の受講資格：
資格取得時と同一会社に所属していること、あるいは、会社を移った場合、資格を取得した会社からの承諾書を提出できる者（承諾書がない場合は、無線工学の基礎講習会からの受講となる）

【参考】

未受講期間に係る取り扱いの流れ



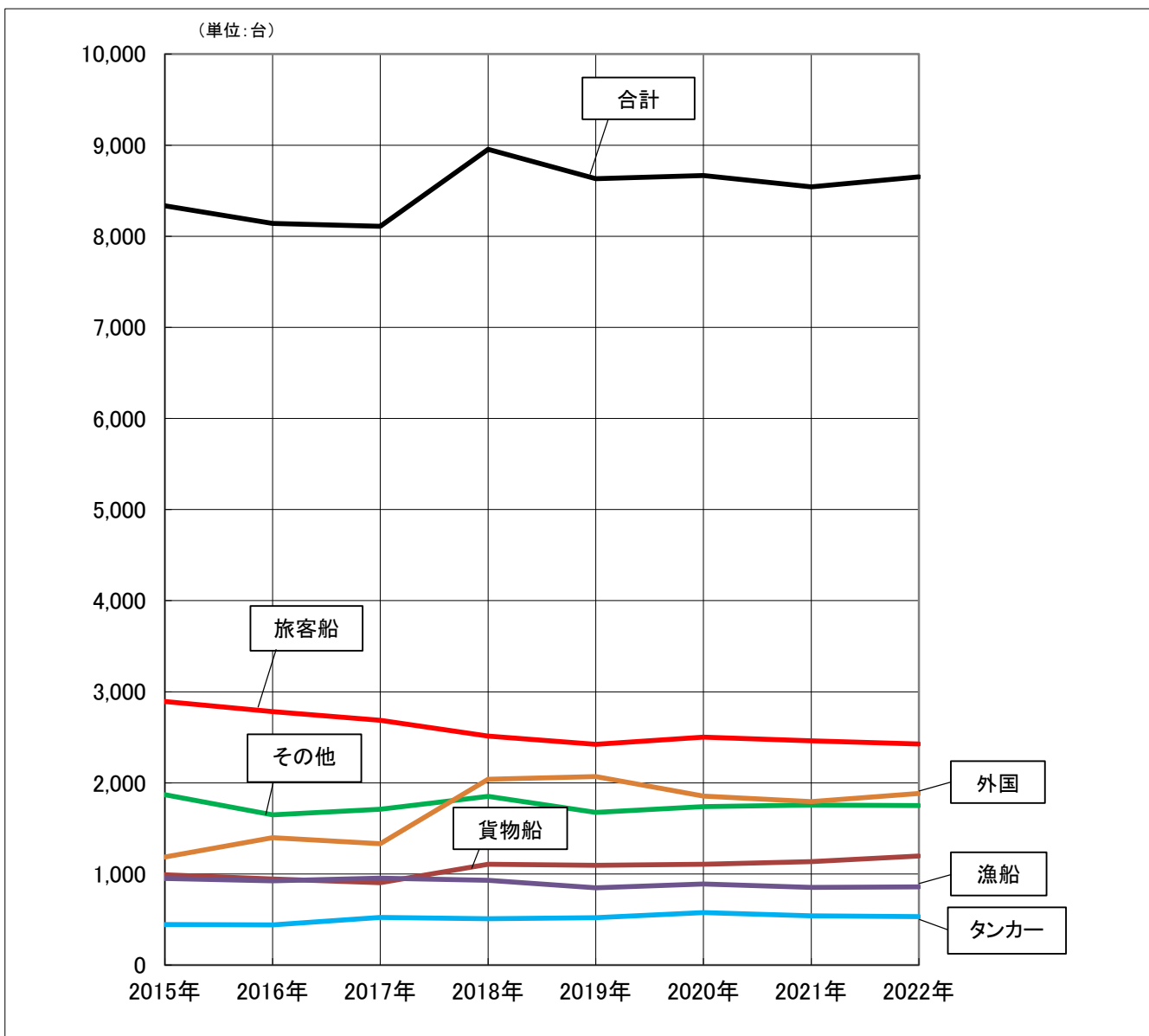
GMDSS 救命設備整備技術資格が停止あるいは失効していて、資格の継続・復活を希望される方は、下記担当指導技師までご相談ください。

以上

担当 一般社団法人 日本船舶品質管理協会
指導技師 芦田 (GMDSS 救命設備)
TEL 03(3253)6201
FAX 03(3253)6204

膨脹式救命いかだの整備台数の推移（用途別）（2015年～2022年）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
旅客船	2,893	2,783	2,688	2,514	2,423	2,501	2,460	2,427
貨物船	991	946	904	1,107	1,096	1,106	1,135	1,197
タンカー	444	441	523	510	519	576	541	533
漁船	950	926	954	931	848	890	852	859
その他	1,870	1,649	1,709	1,852	1,676	1,739	1,758	1,752
外国船	1,186	1,397	1,331	2,040	2,069	1,854	1,795	1,884
合計	8,334	8,142	8,109	8,954	8,631	8,666	8,541	8,652



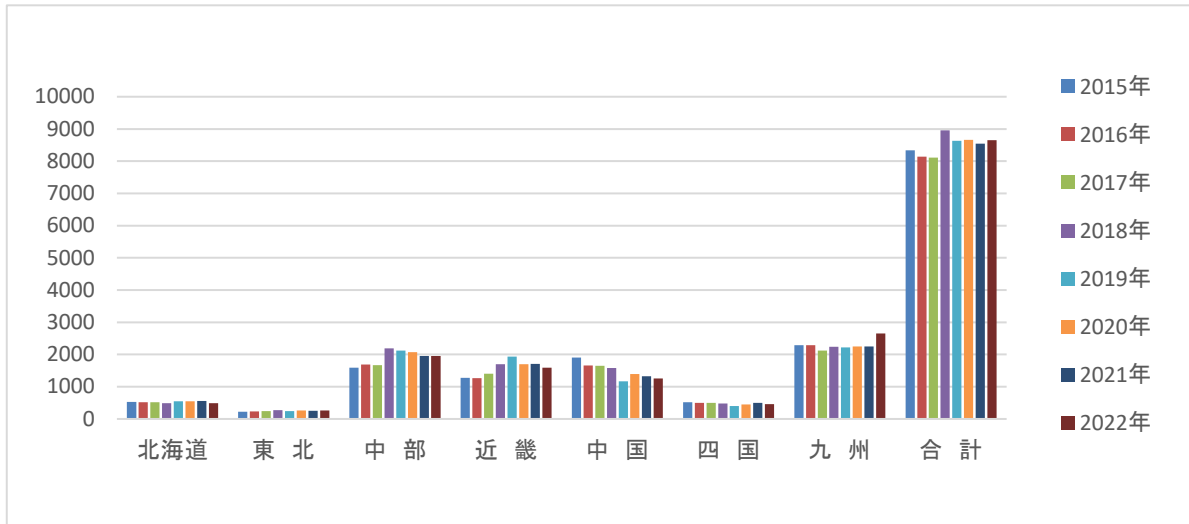
(まとめ)

1. 全体の整備台数は、2018年4月より型式承認を取得していない外国メーカーの整備実績も対象としたため、外国船の整備件数が増加し、これが反映されている。
2. 旅客船については、ピーク時(1995～6年当時6,000台弱)と比べると整備台数は約40%と減少したが、2018年以降の整備台数は横ばいと言える。旅客船の整備は、年末年始を挟んでの整備となるため当年翌年と実績がばらつく傾向にある。また、搭載いかだ・浮器の大型化に伴い整備台数は減少傾向にあると思われる。
3. 非旅客船(貨物船、タンカー、漁船、その他)の隻数が概ね一定であるため、搭載されている膨脹式救命いかだの整備台数も概ね横這いで推移している。

膨脹式救命いかだ地区別整備状況(2015年～2022年)

(台数)

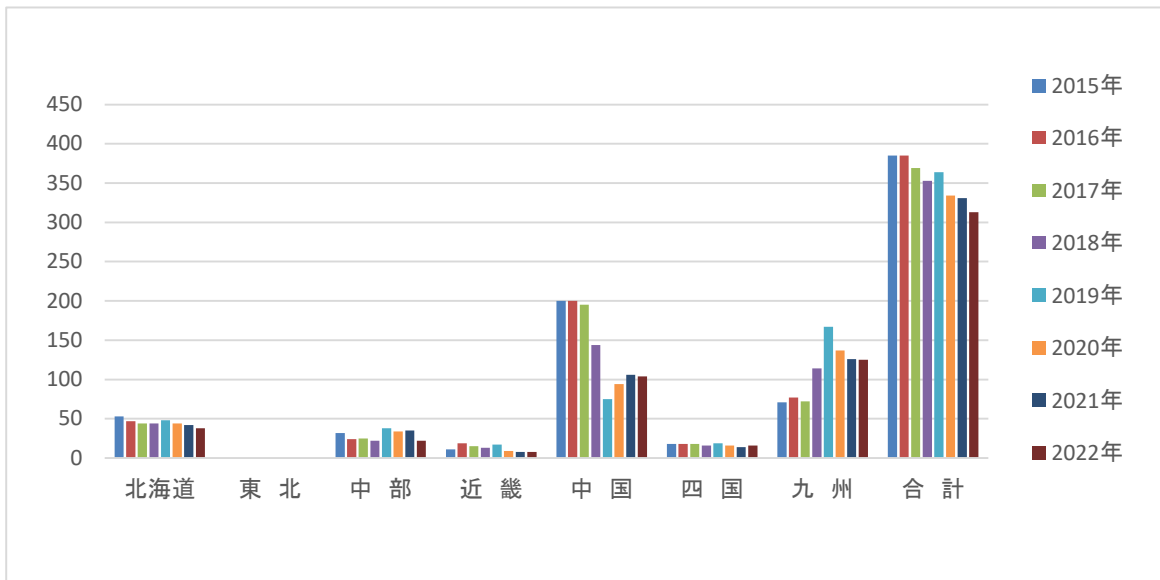
	北海道	東北	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
2015年	528	226	1,588	1,272	1,908	520	2,292	8,334
2016年	515	229	1,687	1,269	1,656	498	2,288	8,142
2017年	516	246	1,674	1,402	1,649	501	2,121	8,109
2018年	491	275	2,187	1,699	1,579	482	2,241	8,954
2019年	544	240	2,119	1,938	1,165	404	2,221	8,631
2020年	546	261	2,069	1,696	1,398	449	2,247	8,666
2021年	554	257	1,952	1,713	1,322	495	2,248	8,541
2022年	485	263	1,951	1,587	1,255	457	2,654	8,652



降下式乗込装置地区別整備状況(2015年～2022年)

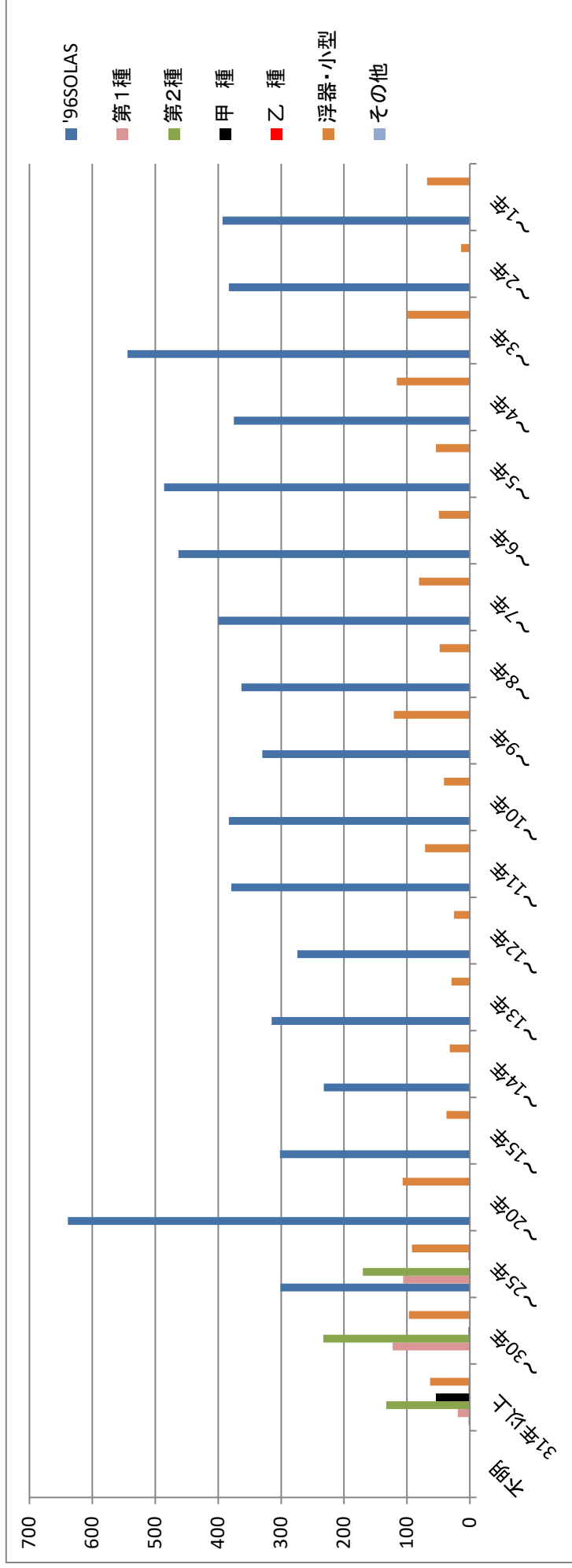
(台数)

	北海道	東北	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
2015年	53	0	32	11	200	18	71	385
2016年	47	0	24	19	200	18	77	385
2017年	44	0	25	15	195	18	72	369
2018年	44	0	22	13	144	16	114	353
2019年	48	0	38	17	75	19	167	364
2020年	44	0	34	9	94	16	137	334
2021年	42	0	35	8	106	14	126	331
2022年	38	0	22	8	104	16	125	313



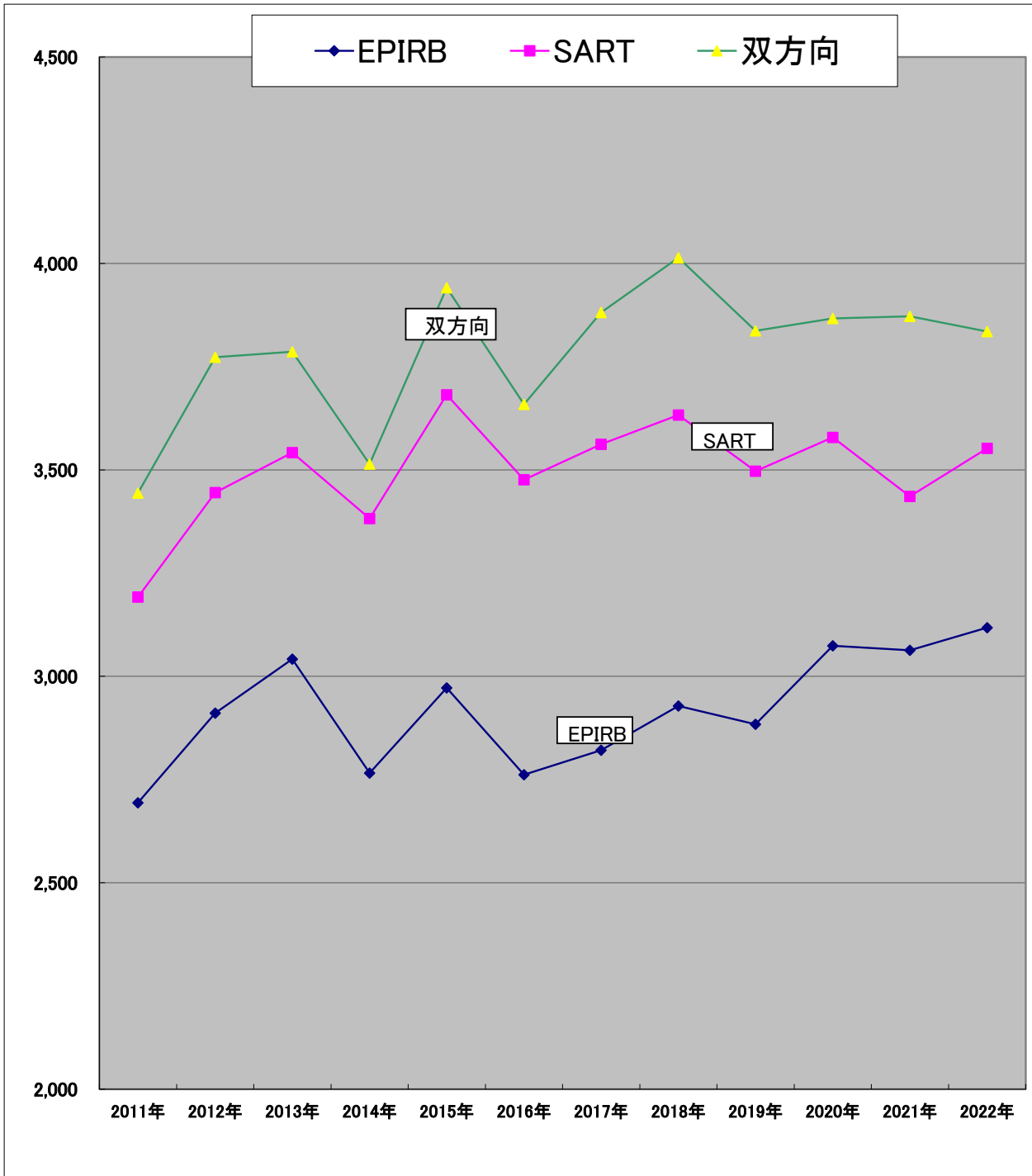
膨脹式救命いかだ種類別・製造年別整備台数一覧表
(2022年1月～12月)

製造後	不明	31年以上	～30年	～25年	～20年	～15年	～14年	～13年	～12年	～11年	～10年	～9年	～8年	～7年	～6年	～5年	～4年	～3年	～2年	～1年	計
'96SOLAS	0	2	0	301	639	302	232	315	274	379	383	330	363	400	463	486	375	544	383	393	6,564
第1種	0	19	123	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	248
第2種	0	133	233	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	536
甲種	0	54	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
乙種	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
浮器・小型	0	63	97	92	107	37	32	29	25	71	41	121	48	81	49	54	116	99	14	68	1,244
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	273	455	671	746	339	264	344	299	450	424	451	411	481	512	540	491	643	397	461	8,652



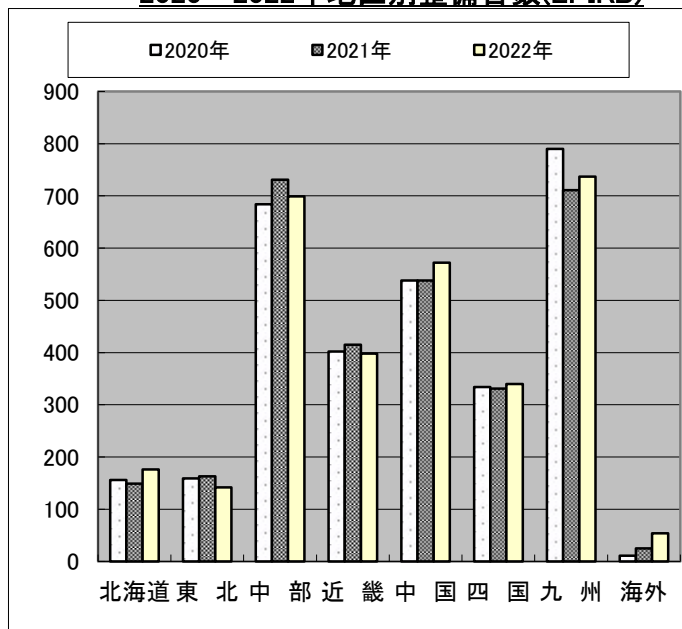
GMDSS救命設備別整備台数の推移(2011年～2022年)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
EPIRB	2,694	2,911	3,042	2,766	2,972	2,762	2,821	2,928	2,884	3,074	3,063	3,118
SART	3,192	3,445	3,542	3,382	3,682	3,476	3,562	3,633	3,497	3,579	3,436	3,552
双方向	3,444	3,773	3,786	3,514	3,941	3,659	3,881	4,014	3,837	3,867	3,872	3,835
合計	9,330	10,129	10,370	9,662	10,595	9,897	10,264	10,575	10,218	10,520	10,371	10,505



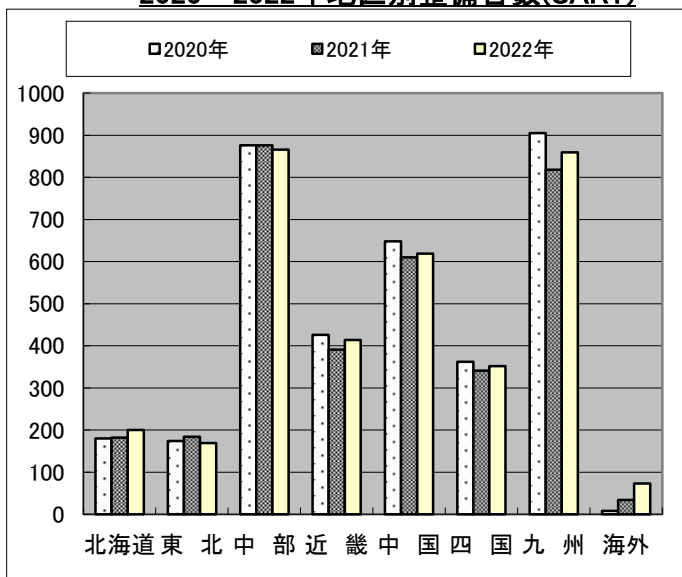
GMDSS救命設備の地区別整備台数の推移(2020年～2022年)

2020～2022年地区別整備台数(EPIRB)



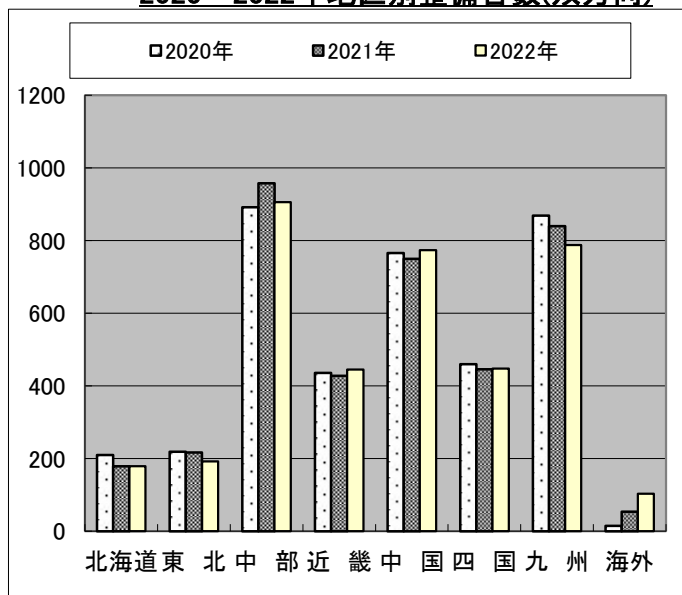
	2020年	2021年	2022年
北海道	156	149	176
東北	159	163	142
中部	684	731	699
近畿	402	415	398
中国	538	538	572
四国	334	331	340
九州	790	711	737
海外	11	25	54
合計	3,074	3,063	3,118

2020～2022年地区別整備台数(SART)



	2020年	2021年	2022年
北海道	180	182	200
東北	174	184	169
中部	876	876	866
近畿	426	391	414
中国	648	610	619
四国	362	341	352
九州	905	818	859
海外	8	34	73
合計	3,579	3,436	3,552

2020～2022年地区別整備台数(双方向)



	2020年	2021年	2022年
北海道	210	179	179
東北	219	217	192
中部	892	958	906
近畿	436	428	445
中国	766	750	774
四国	460	446	448
九州	869	840	788
海外	15	54	103
合計	3,867	3,872	3,835

GMDSS救命設備の種類別・製造年別整備台数(2022年1月～12月)

製造年	1997以前		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
	不明	25年以上	24年	23年	22年	21年	20年	19年	18年	17年	16年	15年	14年	13年	12年	11年	10年	9年	8年	7年	6年	5年	4年	3年	2年	1年	
EPIRB	50	21	39	10	7	4	3	8	10	2	12	65	94	107	99	100	219	172	217	226	358	333	266	212	138	13	3,118
SART	33	131	262	23	67	73	113	56	65	77	86	295	125	198	197	172	204	133	103	199	200	128	202	131	53	14	3,552
双方向	17	503	65	46	52	45	58	53	96	54	55	177	153	163	127	195	227	189	156	229	215	196	315	85	159	67	3,835
計	100	655	366	79	126	122	174	117	171	133	153	537	488	423	467	569	603	539	485	786	748	657	783	428	350	94	10,505

